

令和7年11月26日

令和7年度 松山歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は「令和7年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和7年度学校関係者評価委員会

委員 松本 秀樹 (一般社団法人愛媛県歯科医師会 副会長)
松浦 あずさ (一般社団法人愛媛県歯科衛生士会 副会長)
白石 浩人 (愛媛信用金庫 地域事業振興部推進役)
宮岡 裕子 (在校生保護者)
片岡 朝夏 (卒業生)

敬称略

教職員 松岡 由紀子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
室 利幸 (松山歯科衛生士専門学校 校長)
清水 綾 (松山歯科衛生士専門学校 副校長)
重信 克也 (学校法人松山ビジネスカレッジ 総務部長)
東田 由美子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 総務部 教務課長)

2. 実施内容

開会挨拶、校長挨拶、出席者紹介

自己評価報告 (1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

3. 校内、施設見学

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

（委員からの意見）

- ・ 手話の授業を見学したが、聴覚障害者の対応に当院でも困った経験もあり、授業で取り組んでいることは大変評価出来ることである。
- ・ 現場ではデジタル化が進みつつあり、12月からプリント義歯が保険導入される。口腔内スキャン（IOS）も導入されるが、学校ではどのように対応を考えているか。

（回答）

- ・ 実習先でも実際に見学させてもらっている。機材の購入は難しいので、業者持ち込みによる研修を検討している。
- ・ 情報収集に努め、フィードバックしていく。

（委員からの意見）

- ・ 実習することで自分のものにしていくことが大切である。
実習室もモニター室も綺麗に整備されている。

（回答）

- ・ 自分たちで使用するものは、学生が清掃している。また、夏季休業前と年末大掃除も実施している。

（委員からの意見）

- ・ 高齢者の口腔内マネキンについて説明があったが、どのような仕組みになっているものか。それを使用することによりどのような学習効果があるのか。

（回答）

- ・ これまでは、学生同士での実技に限られ、高齢者への対応の実践には難しいものがあったが、来年度購入を検討しているマネキンは、義歯の着脱や歯牙欠損部位への対応、また咽頭が再現されており、誤嚥に配慮した口腔ケアも行うことができるようになっている。

（委員からの意見）

- ・ 子供からは話には聞いていたが、実際の授業風景を見学して、どのような学習をしているかが解りよかった。

（委員からの意見）

- ・ 10年後も20年後も活躍できる歯科衛生士になって欲しい。
- ・ 自分が学生の頃はコロナ渦で学外を見る機会がなかったので、今は実習もあり選択肢が増えてうらやましく思う。これからの卒業生が楽しみである。
- ・ 学校を知ってもらうために学生の動画の投稿や、また卒業生としても何か貢献できることがあれば協力したい。卒業生が在校生に語り掛けることもモチベーションアップに繋がる。

5. 閉会